平成２９年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議

関東東海・土壌肥料部会秋季研究会 開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議 関東東海土壌肥料部会長

中央農業研究センター 土壌肥料研究領域長　　　大谷　卓

１．趣旨

最近の農業動向をみると、米の生産額が減少する中で野菜や畜産の生産額が増加してきており、耕地利用の観点からも水田の畑地的な利用の必要性が増してきている。土壌肥料分野においても、水・施肥管理、地力の維持、環境保全への対応等、水田へのムギ・ダイズ・野菜・飼料作導入に対応した研究および技術開発が求められる。そこで、関東東海地域における水田の畑地および飼料作利用に関する研究の取り組みを紹介し、今後の土地利用型農業に貢献するための土壌肥料研究の方向性や解決すべき課題を検討する。

２．開催日時： 平成29年10月23日(月)　13：00　～　24日(火)　12：30

３．開催場所：

　研究会 （１日目）

　　　JAグループ神奈川ビル　2F講堂　（神奈川県横浜市中区海岸通1-2-2）

　現地検討会（２日目）

　　　ひらつか花アグリ（花菜ガーデン（県立花と緑のふれあいセンター）他）、

　　　全農　営農・技術センター、JA全農 全国土壌分析センター　　（平塚市）

４．共 催 ： 関東東海土壌肥料技術連絡協議会

５．検討事項：「水田作の変貌と土壌肥料研究の対応方向」

　水田地力の低下実態と大豆作の多収に向けて

　　　農研機構・中央農研・土壌肥料研究領域　　　 新良　力也

　インド型の多収水稲品種の作付けで想定される地力問題

　　　農研機構・中央農研・土壌肥料研究領域　　　草　佳那子

他部会からの情報提供

●経営部会

　水田作を中心とした農業経営の変貌

　　　農研機構・中央農研・農業経営研究領域　 金岡　正樹

●水田畑作・作業技術部会

　水田転作大豆の多収阻害要因の診断から対策への一方針

　　　愛知県農業総合試験場・作物研究部　　 森崎　耕平

　チゼル深耕体系での麦・大豆の多収阻害要因の解消

　　　三重県農業研究所・農産研究課　　　　 川原田　直也

●野菜部会

　水田野菜作の課題と地下水位制御システムの活用の方向性

　　　農研機構・野菜花き研究部門・野菜生産システム研究領域　　　中野　有加

総合討議

６．参集範囲

関東東海地域各都県行政・普及・試験研究機関、農林水産省生産局、農林水産省消費・安全局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、大学、民間企業、(独)農林水産消費安全技術センター、農研機構、その他部会長が認めるもの

７．連絡先

農研機構中央農業研究センター 土壌肥料研究領域 土壌診断グループ長 金澤 健二

(TEL：029-838-8826、E-mail：kanazawa@affrc.go.jp)

神奈川県農業技術センター 生産環境部 土壌環境研究課長　　上山　紀代美

　 （TEL：0463-58-0333、E-mail：kamiyama.544z@pref.kanagawa.jp）

８．その他

参加申込み等については、神奈川県農業技術センターより別途連絡する。